

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

創造・革新・挑戦を基本に、顧客満足度を高め、独創的技術で新事業を創出し、企業体質を強化し、社会・環境課題の解決に貢献する。

ROIC
8%以上ROE
10%以上ROIC
6.2%

② 中長期の経営戦略

1. 電子材料の成長

独自の樹脂配合と塗工技術で高機能材料を開発。半導体・データセンター、モバイル端末、次世代コンピューティング、次世代モビリティ分野で新製品展開。

3. ディスプレイ材料の展開

新製品開発でデジタル社会に貢献。産業インフラ、医療機器、次世代コンピューティング分野で拡販。

2. 産業用材料の事業化加速

差異化製品でモビリティ・エネルギー領域の事業化を推進。水処理、燃料電池、航空機内装材、次世代電池、水素エネルギー事業で成長。

4. 競争力強化

独自の管理技術・固有技術を磨き、品質・コストの競争力を強化。製造・販売・技術部門の連携とグループ協働を推進。

③ 対処すべき課題

① 脱炭素社会への対応

- ・ 2030年度にカーボンニュートラル達成（Scope1・Scope2排出量実質ゼロ化）
- ・ 省エネルギー・省資源の推進と再生可能エネルギー代替
- ・ 環境負荷低減材料の提供

② 人材と働き方の充実

- ・ 個人の自律性と組織の一体感向上
- ・ 次世代を担う人材育成
- ・ 全ての社員が生き活きと働ける組織構築

③ 循環型経済と安全確保

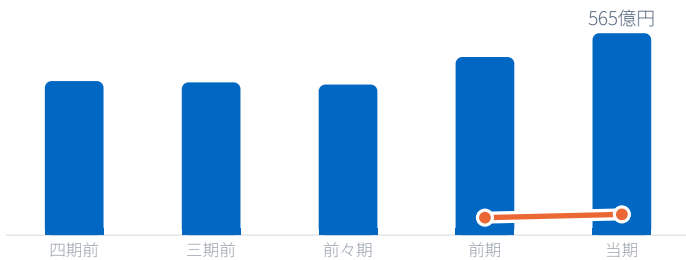
- ・ 排出物削減とリサイクル推進
- ・ 持続可能なサプライチェーン構築
- ・ 化学物質の安全確保

面接で使えるポイント

- ・ 創業以来の「織る、塗る、形づくる」独自技術を活かし、グローバル化・多様化する市場で新たな価値を創造する点。
- ・ 2030年度カーボンニュートラル達成目標と、TCFD提言への賛同による気候変動対応の積極性。
- ・ ROIC8%以上・ROE10%以上を目指す中期経営計画と、4つのマテリアリティに基づいた持続的成長戦略。

証券コード 5208

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
565億円営業利益率
10.3%財務健康度
65点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 58.4（当サイト算出の参考指標）

平均年収
671万円

化学内 127位/204社

平均年齢
45.4歳

化学内 24位/204社

平均勤続
21.0年

化学内 8位/204社

女性管理職
19.2%

化学内 24位/173社

男性育休
57.1%

化学内 131位/154社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考：【記者ノート】有沢製作所、岐阜県可児市に100億円投じ半導体

